




環境・エネルギー分野

研究領域

「地球規模の環境課題の解決に資する研究」

| | | | |
|--|--|------------|---|
| 採択年度 | 2023年 | 研究期間 | 5年間 |
| 研究課題名 | 下痢リスク可視化によるアフリカ都市周縁地域の参加型水・衛生計画と水・衛生統計 | 貢献する主なSDGs |    |
| 研究代表機関 | 京都大学 アフリカ地域研究資料センター | | |
| 相手国 | ザンビア共和国 | 主要相手国研究機関 | ザンビア大学 |
| 研究課題の概要 | | | |
| <p>本研究は、サブサハラ・アフリカの都市周縁地域において、水と衛生の質を適正に監視し、し尿の汚染に由来する下痢リスクを許容レベルまで低下させることによって、健康で衛生的な生活の促進を目指す。さらに、水と衛生の質に関する統計情報を創出し、効果的な衛生環境政策の立案に寄与することを目的とする。具体的には、参加型手法により住民自身が下痢リスクを定量的に可視化するための検査・解析ツールを開発する。これを用いてリスク認知および対策の効力感を高めることで、リスク低減のための衛生環境改善策を住民自らが計画・実践するための仕組みを構築し、アプリケーションソフトウェア化する。同時に、住民が測定する水と衛生の質および実践する改善策の効果に関するデータを集積してビッグデータ化し、異常値検出・補正によりボトムアップ型の水・衛生統計を創出する。ルサカ市公衆衛生・社会サービス局と連携して、ルサカ州ルサカ市周縁地域でこれを社会実装し、有効性を実証する。</p> | | | |